

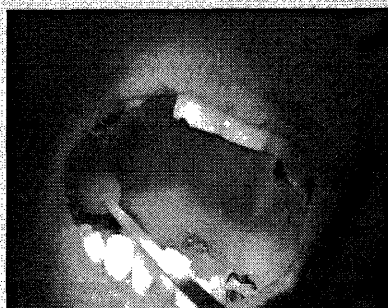
呼吸ケアチームによる具体的なケア(例)

◆安全管理

適切な鎮静・鎮痛管理を行い、
せん妄予防による人工呼吸器装着期間長期化の防止
臨床工学技士による人工呼吸器の点検

◆口腔ケアの実践と指導

デンタルプラークの付着や口腔細菌の増殖を防ぎ、
誤嚥性肺炎など感染症を予防



◆廃用症候群の予防

早期離床・運動療法による心身の機能低下の防止

人工呼吸器関連肺炎の予防には早期の人工呼吸器離脱が重要であり、その適切な
プロトコール作成と呼吸ケアの実践に関し、専門性が高く知識が豊富な専門看護師・
認定看護師が関与している。

聖路加国際病院における呼吸ケアチームの活動

聖路加病院の特色:

- 急性期病院であり、集中治療を経過した呼吸器装着患者を一般病棟で診ている。
- NPPV※1導入により在宅復帰に移行する患者が多い。

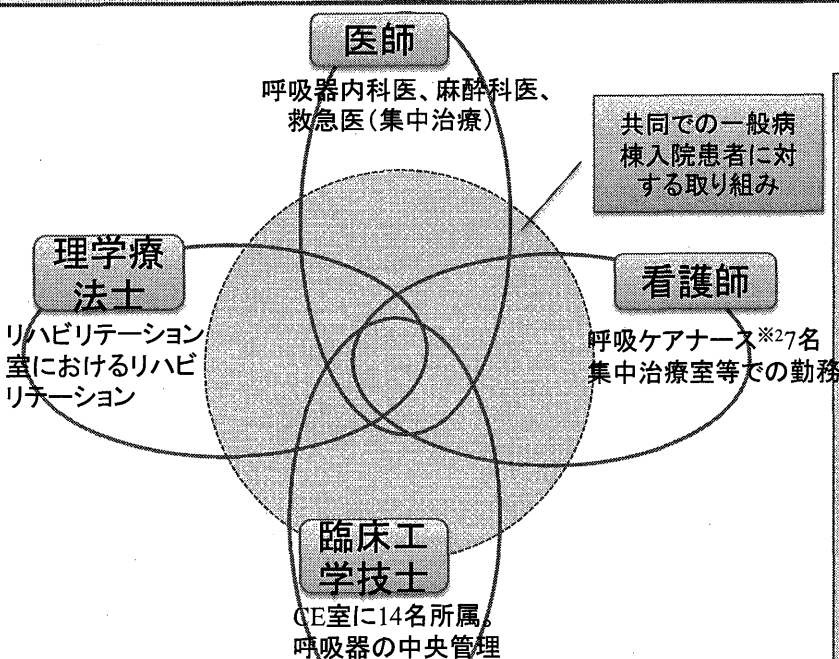
一般病棟における呼吸器管理の重要性

対象患者:

一般病棟に入院する人工呼吸器装着患者(着脱患者も含む)、排痰困難等によりコンサルテーションされた患者

活動内容:

1. 回診: 週1回、呼吸ケアナース、医師、臨床工学技士が参加。
 - ・呼吸器設定の確認
 - ・その場で主治医に確認してweaningに向けた呼吸器の設定変更
 - ・痰の状態、加湿、吸引等について、病棟看護師にフィードバック
2. 個々の活動
 - ・呼吸ケアナース: 主に集中治療部門に所属し、病棟における呼吸器装着患者のケア
 - ・臨床工学技士: 1日2回、呼吸器装着患者のラウンド。準夜勤務による、夜間のみ呼吸器を装着する患者の装着状況確認。



※1NPPV 非侵襲的陽圧換気

※2呼吸ケアナース 聖路加病院では、3学会(日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士の資格を持つ看護師を指す

